特定非営利活動法人 未来クリエート２１

令和元年度事業報告書

１．事業の成果

法人３期目となる令和元年度(平成３１年４月１日から令和２年３月３１日)においても、少子高齢化が進むなかで「より多くの方々が、生きがいを感じ、互いに助け合う、住みやすい地域作りに貢献する」を目的に事業を展開してまいりました。ただ年度最終盤には、深刻化してきた新型コロナウィルス感染防止対策として、事業縮減を開始した特異な年度となりました。

①「生きがいづくり事業」は、前年の年間参加者が６６５人に止まった点を踏まえ、東京 2020 オリンピック、改元号、子ども情操教育など世情にマッチした「おもてなし英会話」「古典に親しむ」「古文朗読」「子供アート(絵画、創作、切り絵)」など、エキスパート講師によるクリエート大楽(だいがく)新講座を開設し、従来講座と合わせ１５講座を、例外の１講座を除いて、凡そ月一回或いは複数回開催してまいりました。並行して、講座参加による脳の活性化、知的好奇心の高揚、手・指(編物・ぬり絵)・口(歌・朗読・おしゃべり)を動かすことが、認知機能低下を防ぎ健康寿命の増進に繋がることを、地元 FM 放送、チラシなどで PR し、参加者拡大に努めてまいりました。

その結果、クリエート大楽(だいがく)年間参加者は１０８６人と飛躍的に増加し、当法人の主力事業になるまで成長させることができました。しかし、次年度のクリエート大楽(だいがく)は、新型コロナウィルス防止対策として、期初から出口の見えない全講座休講を続けていることから、大幅な業績低下が避けられないものと予測しております。

②「家事援助等の事業」は当法人のコア事業であり「困ったときはおたがいさま」をモットーに、公助・共助で補いきれない隙間の援助活動を続けてまいりましたが、その援助実績(時間と回数)は、前年比約２割減と大幅な落ち込みとなりました。その主たる要因は、地球温暖化によるものと思われます、初夏から初秋にかけての異常高温時の高齢支援者の安全と健康を守るため、これまでの熱中症対策(時短・休養・飲料提供)に加え、利用者の了解のもと、６月から９月の間は住居周辺屋外作業を辞退した事によるものです。

次年度以降も当措置は継続しますので、業績の維持向上対策としては、増加傾向にある独居高齢者の定期的な買い物・食事作り・病院付添いなどのサービスに注力して行く考えであります。

③「他団体への支援事業」につきましては、２年続けて支援活動してまいりましたが、本年度は「子育て研究会」「介護保険研修会」が開かれず、支援実績はありませんでした。

次年度も新型コロナウィルス感染拡大の影響で、当支援事業は無いものと推測しております。

④「認定申請」につきましては、平成２９年度、３０年度の２年間の実績をデータベースに、６月からほぼ８ヶ月間、「絶対値基準クリア」「労働性の否定」「公益性の立証」「事業費・管理費按分変更」などの課題を解決しながら、申請書類作成に取組んでまいりました。しかし申請過程で分かってきた事ですが、認定後には経理専門人材が不可欠となり経費が著しく増大し、寄付が集めやすくなるとしても、その経費増を補いきれないことから、熟考の末、認定申請を取り下げることと致しました。ここまでご指導頂きました、所轄庁並びにふじのくに NPO 活動センターの担当者の皆様、２年に亘り賛助頂きました大勢の皆様、ここに深くお詫びを申し上げる次第です。

認定申請は取下げ致しましたが、これからも「未来クリエート２１」は、公助・共助の隙間で、助けを求める高齢者の切実な声に応えてまいります。皆様の引き続きのご支援をお願い致します。

２．事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事　業　名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者延べ人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
①生きがいづくりに関する事業	交流会 １４講座 （居場所２）	月１回１０講座計８５回/年, 月２回以上４講座計９８回/年、合計１８３回	法人事務所	380 人	1,055 人	1,092
	交流居場所（エアツアー）	略４ヶ月に１回、計３回/年	法人事務所	20 人	31 人	159
②家事援助等の事業	訪問家事援助 住まいの環境整備援助	通　年 （屋外作業６月～９月除く）	島田市 藤枝市	1,300 人	250 人	2,081
③その他この法人の目的を達成するために必要な事業	地域交流事業	11 月 16 日（土）	法人事務所・集会室・車庫	20 人	100 人	48
子育て支援・相談の事業	・子育て研修会 託児	開催なし				0
リフレッシュサービス等の事業	・親睦ツアー ・研修会	開催なし				0